

Jade Helm 15 : 米7州に及ぶペンタゴンの大軍事演習

——なぜ、何のために？

RT (Russia Today)

July 14, 2015



SCAR ライフルを持って訓練する米「ネイビー・シールズ」特殊部隊

米軍は、この水曜日に始まる「ジェイド・ヘルム 15」作戦を“通常の”演習だと言っている。しかしテキサスの人々は、戒厳令（*martial law*）が布かれることを恐れて、民兵団を組織し、Chuck Norris できえ恐怖におののいている。RT は神話と真実を分けて報道する。

Jade Helm 15 作戦とは何か？

7月15日から9月15日の8週間にわたって実施される「ジェイド・ヘルム 15」では、ネイビー・シールズ、グリーン・ベレー、その他の特殊部隊が、一連の非通常戦闘演習に参加する。軍事アナリストはこれを、中東のイスラム国（IS, ISIS, ISIL）、あるいは東ウクライナのロシアの関わりと言われるものに対する、作戦行動を模するものではないかと憶測している。

「これは軍の特殊作戦部隊の高度の即応性を保つための、通常の訓練行動だ。なぜなら彼らは、世界のどこでも、命令に瞬時に応えられる能力を備えておかなければならないからだ」と、米軍特殊作戦報道官の Mark Lastoria 中佐は説明した。

<http://www.stripes.com/news/us/army-special-operations-command-pushes-back-against-alarmist-claims-about-upcoming-exercise-1.335949>

なぜ、軍の演習用地域の外で行われるのか？



UNCLASSIFIED//FOUO

Why Texas

- The United States Special Operations Command (USSOCOM) has conducted numerous exercises in Texas, because Texans are historically supportive of efforts to prepare our soldiers, airmen, marines and sailors to fight the enemies of the United States.
- To hone advanced skills, the military and Interagency require large areas of undeveloped land with low population densities with access to towns. The proposed areas offer the conditions conducive to quality training because of real obstacles to challenge Joint and IA personnel during planning and execution of their tasks. These challenges include:
 - Operating outside the normal support mechanisms
 - Adapting to unfamiliar terrain, social and economic conditions
 - Operating in and around communities where anything out the ordinary will be spotted and reported (Locals are the first to notice something out of place)
 - The opportunity to work with civilians to gain their trust and an understanding of the issues

7

UNCLASSIFIED//FOUO US Army Special Operations Command

米軍特殊作戦部の
Jade Helm 15 説明会
からの抜粋

米軍文書によれば、この演習では、兵士たちを「通常の支援メカニズムの外」に置く必要があり、彼らを「よく知らない地帯の社会的・経済的条件に適応するよう強制すること、…市民と共に行動して、彼らの信用と問題に対する理解を得させる」ことが求められている。

<https://docs.google.com/file/d/0B3axduuybL0jdiZQUjhsSmJsZTA/edit>

それは米本土での過去最大の演習ではないが、内容的に前例はない

メディアは、この演習は米7州（テキサス、アリゾナ、ニューメキシコ、ユタ、ミシシッピ、ルイジアナ、およびフロリダ）にまたがり、1200の部隊が出動するもので、これは合衆国内部で試みられたものとしては、過去最大の演習のものだと報道した。

これは正確ではない——例えば、2億5000万ドルを投じた「ミレニアム・チャレンジ2002」は、米全土に展開され、13,000の部隊が関わった。米本土の外に目をやるなら、韓国と合同の毎年の演習のように、何十万もの部隊が参加する軍事演習もある。



米特殊作戦部は、「このような多数州にまたがる演習は特別なものではないが、“ジェイド・ヘルム”の大きさや規模は確かに例外だ」と認めている。「これら多数の州のさまざまな地形は、特殊作戦の兵士たちが、海外で通常行動している地域の地形を反映している」と説明している。

https://www.google.ru/url?sa=t&rct=j&q=&esrc=s&source=web&cd=1&ved=0CBwQFjAAahUKEwjG7dGC99jGAhXHqHIKHR_gAGY&url=http%3A%2F%2Fwww.soc.mil%2FUNS%2FReleases%2F2015%2FMarch%2F150324-03.html&ei=UB2kVcaFOsfRygOfwIOwBg&usq=AFQjCNFhvw8RzSvJouMNW5e06sKrhKenpA&sig2=J-oWLY9JqD7sZKCYqCK83Q&bvm=bv.97653015,d.bGQ

メディアは取材を許されない



関連記事：「ジェイド・ヘルム：国家全体が包囲攻撃される？」

<http://rt.com/op-edge/272920-us-army-jade-helm/>

ワシントン・ポストのような主流米メディアから、この戦争ゲームを監視する許可の要請が多数あったにもかかわらず、ペンタゴンはこれをすべて拒否し、奇襲部隊が、本物の市街地で迅速な活動をしているのを追うことは非現実的で、将来、世界中で極秘のミッションを行う士官の面が割れる危険もある、と応じた。

特殊作戦司令官は、演習のどこかで都合がよくなれば、その一部を取材する記者を随行させるかもしれないと言った。

<http://www.stripes.com/news/us/jade-helm-15-to-open-without-media-access-1.357168>

「我々は大衆と意思疎通することを優先させるが、作戦の安全保障や他の要件とのバランスも考えなければならない」と、ラストリア少佐の声明文は述べている。

テキサス住民は不満でいっぱい

元海兵隊の Pete Lanteri は、テキサス州で活動する兵士たちを監視する志願グループ「反ジェイド・ヘルム」を結成したが、この戦争ゲームに巻き込まれた他の州でも、同じような組織が形成された。



<http://twitter.com/MassDeception1/status/620660716509466624/photo/1>

「もし、このチームのメンバーが、兵士たちを満載して街を通り抜ける 2 台のハンビー（多目的軍用車両）を見かけたら、彼らはその後をつけることになっている」と、組織者の一人 Eric Johnston は、今月初め、「ヒューストン・クロニクル」紙に語った。「そして彼らは、その最後の居場所を通信することになる。」



「我々は、彼らが一般人の中で何をするかを見張ることにします」と、ランテリは言った。「軍事基地で、彼らが勝手なことをするのは明らかです。しかし、もし彼らが公的な土地で訓練をするというなら、我々はアメリカ市民として、彼らの行動を監視する権利があります。」

どちらも彼らを統制できない



テキサス州警護隊

テキサス州共和党知事 **Greg Abbott** は、テキサス州警護隊に、特殊部隊の行動を監視するよう命じた。これは伝統的な民兵団で、戦時にも連邦軍に徴兵されることのない 1900 名の兵士からなっている。

「テキサス州住民が、彼らの安全、憲法上の権利、個人財産権、それに市民的自由は、侵害されないということを知ることが重要である」とアボット知事は、警護隊の司令官への公開指令文書に書いた。「切れ目なく作戦部隊を監視することによって、州警護隊は、私のオフィスと作戦司令官との間の連絡を容易くし、テキサス住民を守る十分な措置が取られるよ

うにする。」 <http://gov.texas.gov/files/press-office/20150428125759.pdf>

チャック・ノリスも手に負えない



アメリカの俳優で共和党支持者のチャック・ノリス

有名な硬派の俳優で、共和党全米ライフル協会の活動家 **Chuck Norris** もまた、保守派 **WND** ウェブサイトの彼のコラムで、苦しい言い方をしている。

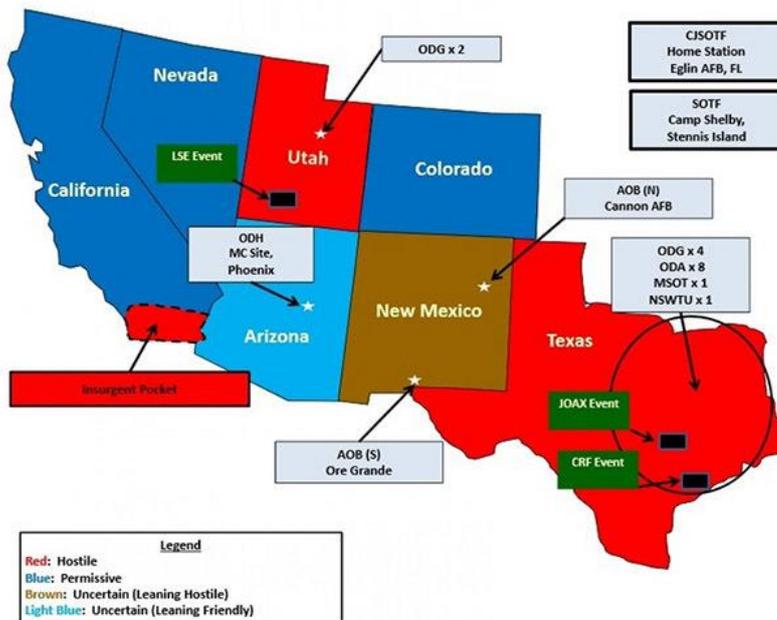
「巻き込まれたテキサス人やアメリカ人たちは、軍服を着た我々の勇敢な男や女たちを決して疑っているわけではない。彼らは単に命令に従っているだけだ。問題は、ワシントンで“ジェイド・ヘルム 15”の糸を操っているのが誰かということだ。米政府は“これは訓練活動に過ぎない”というが、この“過ぎない”を政府が使うときは、本当のことを言っているかどうか怪しいものである」と、この 75 歳の俳優は書いた。

どういう意味かを問われると、ノリスはそれ以上の過激な主張から一歩退いた。

「私は決して、7 州にまたがる作戦部隊が、テキサスを占領するだろうとは言っていない。それは最大の国内軍事訓練であるのに加えて、ISIS とか他のテロリストを（南の国境近くで）押しとどめるための軍事的示威でもあると思う。FBI によると、そういう者たちが、すでに 50 の州すべてに入り込んでいるという」と、ノリスは別の **WND** コラムに書いた。

<http://www.wnd.com/2015/05/obamas-amnesty-by-edict-and-jade-helm-15-part-2/#h4Se5hH4D3PCRbVv.99>

陰謀論が広く行われている



たとえチャックが、米特殊部隊訓練の、それ以上過激な説明に踏み込まなくても、3月にこの作戦が通告されて以来、そのような説明が驚くばかりにエスカレートした。これは、テキサスの反権力の気風、バラク・オバマやウルトラ保守派の民主党への恨み、それにインターネットの盛んな警告が要因である。



Martial Law or Invasion Training?

Be Prepared!



IT'S NOT TRAINING

Joint
Assistant for
Development and
Execution

HOMELAND
ERADICATION of
LOCAL
MILITANTS

15 - 2015

<https://www.youtube.com/watch?v=zojMaAjtth&feature=youtu.be>

Military computer program that makes execution of a plan flexible by instantly creating a secondary plan of action when changes in plan occur.

RED & BLUE LIST

- GUN OWNERS
- CONFISCATORS

BLUE LIST WILL NOT ONLY CONFISCATE GUNS BUT WILL ALSO "ELIMINATE" GUN OWNERS

U.N. SMALL ARMS TREATY - Countries may seek assistance in implementing the treaty... the plan calls for worldwide disarmament. U.N. has a voluntary trust fund to assist in using Multi-National forces to disarm locals (Chinese & Russians are training to implement in U.S.)

SOURCES:
 1) 2001 - Air Force Research Laboratory
 2) STATE PUB. 7277 - Disarmament Series 5
 Released Sept. 1961 - Office of Public Affairs
 BUREAU OF PUBLIC AFFAIRS

FREE
D
V
D
s

TYRANNY
RESISTANCE
TEAM

IT'S CIVIL WAR !!!

No, it's war between the states of freedom and tyranny.

事の起こりは、テキサス州をユタ州と共に、作戦実行中は“敵の領域”とするという秘密の——しかし実際は極秘解除されていた——文書であった。ペンタゴンの説明によると、戦争ゲームの間は、いろんな領域が友好国や敵国として指定されるのは珍しいことではないという。<https://docs.google.com/file/d/0B3axduuybLQjdjZQUjhsSmJsZTA/edit>
<http://edition.cnn.com/2015/05/04/politics/pentagon-texas-jade-helm-15-takeover/>

しかしその必要はなかった——陰謀論がすでに離陸していた。過去数か月の間に、人々の間では、閉鎖された「ウォルマット」チェーン店は、トンネルで結ばれた地下基地に再利用され、アイスクリーム運搬に使われていた冷凍車は死体運搬に使われ、テキサスは戒厳令を甘受するよう強制されるか、またはまとめて強制収容所へ送られるかもしれない、といった疑惑が飛び交っていた。

<https://youtu.be/K4310XOz4tc>

「反ジェイド・ヘルム」隊でさえ、そのフェイスブックのページから、挑発的な漫画のセリフを消去するように強制されて、頭にきている。



“アメリカ軍がやってくるぞ！”目を覚ませ、ヒツジ人間たち！ テキサスを狂気に追いやった軍事作戦部隊がついにやってきた！

「頭に銀紙の帽子をかぶって、世界の終わりが来るのを待っている人たちが大勢いるのだ」と Eric Johnston はガーディアン紙に話した、「私はその説は取らないがね。」

Jon Stewart が攻撃姿勢を取る

<https://youtu.be/Xhn7FHHQbVw>

あらゆる方面からテキサスを攻撃する「デイリー・ショー」の、9分間のふざけ番組で、リベラル派のホスト、ジョン・スチュワートは、テキサスが連邦軍に占領されると恐れている人々を、からかう機会を逃さなかった。

特に何も起こりはしない、とペンタゴン



「“ジェイド・ヘルム作戦”は、アメリカのどんな市民的自由に対しても、脅威を与えるようなことはない」と、ペンタゴンの報道官 Steve Warren は5月に話した。「“ジェイド・ヘルム作戦”は、アメリカ人、詳しく言えば、アメリカの特殊戦闘隊員によって行われることになる。」

「すべての隊員は、合衆国憲法を支持し擁護するという宣誓をしている。そして我々は毎日、その精神に沿って命をかけており、その誓いを掲げて行動している」と、ラストリア中佐は言った。「だから理屈に合わないことを考え出して、それを米軍と結びつけようとする人々は、我々の部隊の邪魔をしているのだ。」